

- ### アクセス
- 【電車でお越しの方】**
 - ・南海本線「羽倉崎駅」より東へ徒歩20分。
 - ・JR空港線、または南海空港線「りんくうタウン駅」より南東へ徒歩20分。
 - 【お車でお越しの方】**
 - ・国道26号「末広公園東」交差点を大阪方面からは左折、和歌山方面からは右折すぐ。

泉佐野市田尻町清掃施設組合第一事業所

〒598-0000 大阪府泉佐野市6780番地 TEL.072-464-5211 FAX.072-464-5212
 URL <http://sanotajiri.la.coocan.jp/jigyosho1.htm>

泉佐野市田尻町清掃施設組合第一事業所



施設の沿革

昭和33～34年度	2か年にわたって、1日30klの施設を建設する。
昭和39～40年度	2か年にわたって、1日80klに増設改良する。
昭和40年5月24日	広域行政の一環として、し尿・ごみの共同処理を行うため一部事務組合を設立、泉佐野市田尻町清掃施設組合を設立する。
昭和47年度	無希釈曝気槽(40kl/日)及び脱臭装置を増設する。
昭和52～54年度	3か年にわたって、消化方式の旧施設を撤去し、1日180klの施設を新設する。
昭和62年度	基幹改良工事により、オゾン施設の廃止、前処理・脱水機器等の変更及び活性炭脱臭塔・乾燥汚泥ホッパーを新設する。
平成16年3月	汚泥焼却施設を停止する。
平成16年4月	第二事業所(ごみ焼却施設)への乾燥汚泥の搬送を開始する。
平成17年6月	脱臭炉を停止する。
平成19年7月	汚泥乾燥施設を廃止し、第二事業所への脱水汚泥の搬送を開始する。
令和元～2年度	熊取町からの搬入物の受入により、1日226klの施設へ改修する。

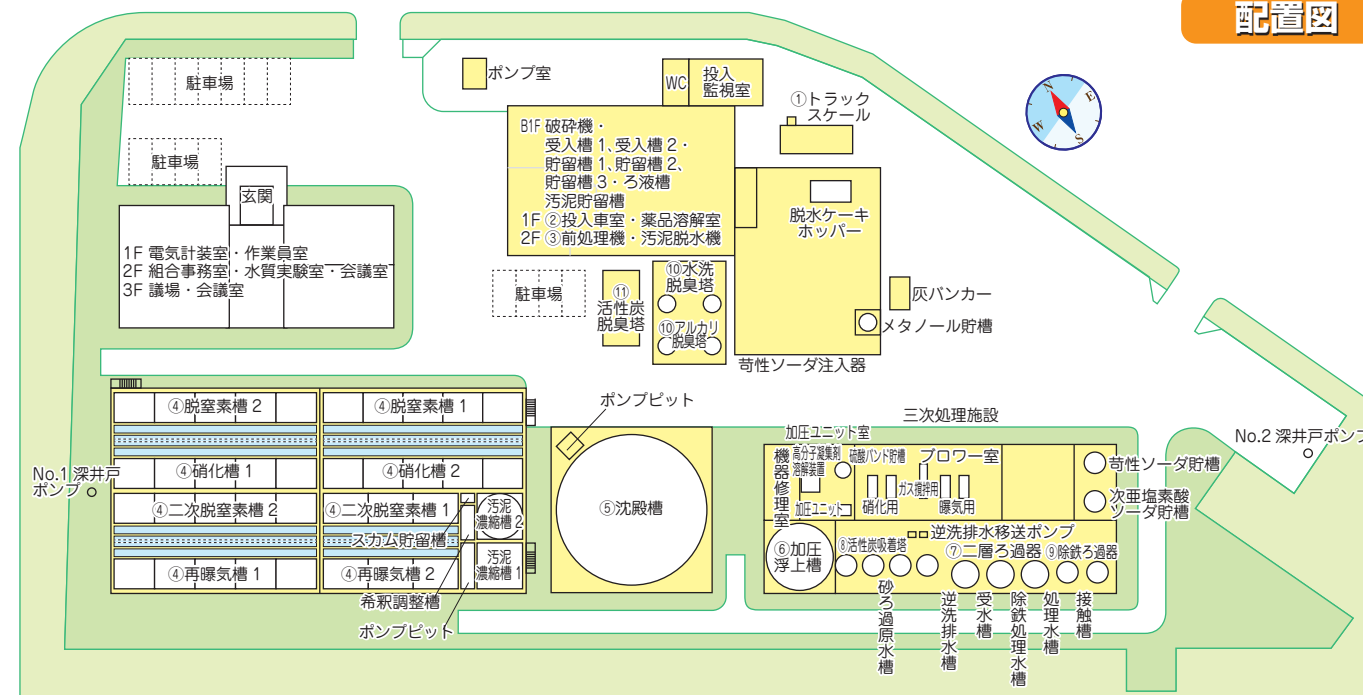
対象地域の人口等の内訳 (令和2年3月末現在)

区分	泉佐野市	田尻町	熊取町	合計
総人口 (人)	100,287	8,479	43,589	152,355
第一事業所処理人口 (人)	63,121	1,224	9,916	74,261
公共下水道水洗化人口 (人)	37,166	7,255	33,673	78,094
行政面積 (ha)	5,651	562	1,724	7,937

施設の概要

設置場所	大阪府泉佐野市 6780 番地			
敷地面積	8,553.6㎡			
処理方式	標準脱窒素処理方式			
処理能力	226kl/日			
当	基本設計・施工管理	オリジナル設計事務所		
	実施設計・施工	栗田工業株式会社		
	施工期間	着工：昭和53年2月3日 竣工：昭和54年9月30日		
初	事業費 (単位千円)	1,674,290		
	事業費内訳 (単位千円)	国庫補助金	府補助金	起債
		781,329	23,478	814,800
	一般財源	54,683		
広域化施設改修	実施設計・施工	株式会社クリタス		
	施工期間	着工：令和元年6月25日 竣工：令和3年3月26日		
	事業費 (単位千円)	340,340		
	事業費内訳 (単位千円)	特定財源	一般財源	
58,525		281,815		

配置図



①トラックスケール



搬入されたし尿や浄化槽汚泥を計測します。

②投入車室



搬入されたし尿や浄化槽汚泥を投入します。沈砂ピットで土砂・金属片などが除去されます。

③前処理機



し尿や浄化槽汚泥に含まれる種々の不純物を除去し、処理工程でのトラブルを防ぎます。

④硝化・脱窒素槽



し尿や浄化槽汚泥に含まれる有機物や窒素化合物をいろいろな微生物で分解します。

⑤沈殿槽



処理水を流入滞留し、上澄水と汚泥に沈降分離します。

⑥加圧浮上槽



沈殿槽からの上澄水に残留する細かな浮遊物質をさらに薬品で凝集し、浮上分離します。

⑦二層ろ過器



加圧浮上槽において除去できなかった浮遊物質をさらにろ過します。

⑧活性炭吸着塔



二層ろ過器で取りきれなかった微細な汚れや色を吸着します。

⑨除鉄ろ過器



処理水の希釈などを行うための地下水の鉄分などを除去します。

⑩水・薬品洗浄脱臭塔



水、もしくはアルカリ薬品を使用し、施設内の臭気を除去します。

⑪活性炭脱臭塔



水・薬品により脱臭したものをさらに活性炭により脱臭します。